一般質問

Q　過疎集落機能低下にどう対応するのか

東海林　孝一郎

一、昨今、過疎化や少子高齢化によって集落機能の低下が著しく、空き家や耕作地の放棄、市街地と集落を結ぶ交通手段の確保が難しい地域もある。
　現時点での対応策を伺いたい。

A　基幹産業の活性化が重要

町長　関　次雄

一、基幹産業である農業の活性化が不可欠であり、農地集積や新規就農、経営継承を促して農業の体質強化を図るため、「人・農地プラン」が決定された。
　町づくりの観点から５～10年後の農業のあるべき姿を考える「マイ田ウン・プロジェクト」では、農業生産法人設立を目指し核となる人材の発掘や育成、「地域おこし協力隊」を導入して新たな人材を確保し、６次産業化に向けた産業振興や地域活性化を図ることが重要であり、この様な取り組みの中、集落・地域を守っていきたい。

Q　今後の畜産振興についてどう考えるか

工藤　雄壽

一、川上肥育センターでの小平産黒毛和牛の新たな肥育素牛導入は、行わないと聞いているが、今後、町の一大イベント「産業まつり」への影響等についての考えを伺いたい。
二、国民健康保険の医療費は年々大きな増加傾向にあり、経営的にも厳しい状況のため、国や地方自治体は、ジェネリック医薬品の使用、普及を促進しているが、小平町の使用状況、啓発についてどのように考えているか。

A　農協、改良組合等と検討していきたい

町長　関　次雄

一、川上肥育センターでの平成26年度までの肥育牛は確保される予定であり、今後についても元浜牧場で肥育は可能と考えているが現在、農協、改良組合等と協議をしている。
　また、黒毛和牛をメインとした産業まつりの在り方についても、実行委員会での検討すべき課題ではないかと考えている。
二、ジェネリック医薬品の使用状況等に関しては、国の使用目標30％に対し、道は23．７％の普及率で、道は平成24年度に協議会を設置して使用の拡大について議論を進めている状況である。
　町内の医療機関での使用状況は８割程度となっており、それ以外についても今後、レセプト点検等により状況を把握した中で普及促進について努めていきたい。